

1 早期化に伴う指導

(1) 小学校中学年での指導

こんな実践

初めて外国語活動に取り組むことを踏まえて、児童が興味・関心をもち、「伝え合う」ことへの意欲が高まるような場面設定や題材の選択を行うことが大切です。

児童が他教科で学習したことを外国語活動の話す場面に生かすことで、児童が意欲的に話したり、聞いたりする姿をねらった実践です。

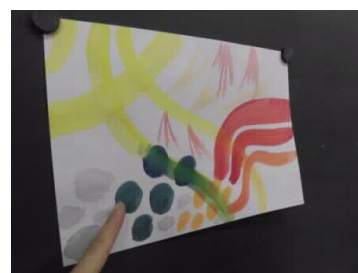
実践学校 A小学校

実践学年 3学年

実践時期 6月下旬

単元・題材名 Let's Try! Unit 4 好きなものを伝えよう

学習指導要領との関連 ウ 話すこと [発表] (イ)



○図画工作でつくった児童の作品を用いて好きな色や形を伝え合う単元を構想しました。4月の図画工作の学習で、「すきないろ 大はっけん」に取り組みました。絵の具の混色や筆の動かし方を試して、好きな色やぬり方を見つけるというものでした。児童の作品には一人一人の思いがたくさん込められているので、6月には外国語活動で好きなものを伝える単元を構想しました。児童が「I like ~.」の他に「色」と「形」の単語を使い、好きな色や形を友達同士で伝え合いました。単元の終末では慣れ親しんだ表現を使って、自分や友達の作品の好きなところを発表しました。

話し手となった児童は実物を指さしながら、好きなところを発表しました。作品を見ながら話を聞いた児童は話し手が好きな色や形を理解し、共感したり、感想をつぶやいたりする姿がありました。児童が発表を終えると、聞いていた児童の中から「自分もやりたい」と話す姿がありました。

**ここがポイント!**

- 児童が話したいと思う場面をつくるためには児童がつくった作品を使うことも有効な手立ての一つです。
- 話し手にとっては話す内容を想起させ、発表内容をあきらかにするために、また聞き手に分かりやすく情報を提供するために、実物やイラスト、写真などを見せながら話す場面を設けましょう。
- その際、話し手は相手に分かりやすく伝えること、聞き手は相手の話を受容する態度を育てることに留意しましょう。

○実際の授業の様子

学習活動	教師の指導・助言の具体例
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> Today's Goal 友達のことを知るために好きなものを伝え合おう </div> <p>Today's Goal を達成するために気を付けたいことを児童に尋ね、Today's Point を設定する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> Today's Point 好きなものをはっきりと言う 聞き手は分かったことを相手に伝える </div>
<p>○ 作品の好きなところを発表する。</p> <p>○ 振り返り</p>	<p>作品が提示してある廊下へ移動して実物を見ながら話す。</p> <p>HRT : Wow! Nice pictures!</p> <p>I like this blue. It's so beautiful. I like yellow too.</p> <p>How about you? A さん, Come here. (絵の前に児童を呼ぶ)</p> <p>S1 : I like gold. I like purple. I like heart.</p> <p>S2 : A さんって金色が好きなんだ。</p> <p>S3 : 私も金色が好き。一緒だ。</p> <p>HRT : Nice. Thank you, A さん。A さんと同じ色が好きな人がいたね。Next, D さん, Please come here.</p> <p>S4 : I like blue. I like right green. I like stars.</p> <p>S1 : ああ。Star ね。それも迷ったんだよね。</p> <p>S5 : 男の子が好きそうな組み合わせだね。</p> <p>S6 : 僕も D さんと一緒のがある。僕も言いたい。</p> <p>HRT : Okay. E さん, Let's try. Come here.</p> <p>S6 : I like stars. I like blue. I like red.</p> <p>S2 : Nice.</p> <p>S5 : うん。Good.違う色だけど言いたい。</p> <p>HRT : Please write review sheet.</p> <p>S5 : 好きな色と形をみんなに発表できたし、「いいね」とか言ってくれてうれしかった。</p> <p>S2 : 友達の好きな色がわかったし、意外な色が好きということも分かって楽しかった。もう一回やりたい。</p>

まとめ

自分や友達の作品は児童にとって思い入れのあるものであり、作品についての感想に共感したり、他者理解しようとしたりする態度を養うことにつながります。友達が好きなものを知るというコミュニケーションの楽しさを実感できるような話題にすることで、発表する意欲を高めることが期待できます。

📖 小さな実践

主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養うためには、児童にとって身近で具体的な場面設定の中で、「誰に」「何のために」という相手意識をもって質問したり、答えたりする必要感のある活動を行うことが重要です。その際、教師がスモールトークの中で自然なやり取りを見せていくことで、児童が具体的な場面や相手意識に気付いていけるようにすることを大切にしました実践です。

実践学校 A小学校

実践学年 3学年

実践時期 10月下旬

単元・題材名 Let's Try! Unit 5 何が好き？

学習指導要領との関連 イ 話すこと [やり取り] (ウ)

○第一時で目指す姿として“What do you like?”を使って担任とALTが言語活動のモデルを示しました。児童は初めて聞く英語を、ジェスチャーや表情、日本語と似ている言葉から意味を推測しました。担任はモデルを示しながら同じ内容を児童にも質問して意味の理解につなげました。モデルの場面を理解した児童は、誰に向けて、何のために行っている言語活動なのかを把握することができました。



ここがポイント！

□ 児童が相手意識や目的意識をもつことで自己理解や他者理解を深め、コミュニケーションの楽しさを実感できるようにしましょう。

○単元構想

時間	学習活動 (時数)	留意点
1	1 オリエンテーション (1) ・ 言語活動のモデルを見て単元の内容とゴールを知る。	・ 好きな色と形を尋ねる教師の会話 (スモールトーク) を見て、聞こえた内容や場面について児童に質問し、表現の意味をおさえる。
Lesson Goal 『ありがとうカード』にかく、友達が好きなものを聞こう		
	・ 好きなものを尋ねる表現に慣れ親しむ。	・ 聞くことを中心とした活動にたくさん取り組めるように活動を組む。

2	<p>2 好きなものを尋ねる表現に慣れ親しむ(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ チャンツや Watch and Think を通して好きなものを尋ねる表現に慣れ親しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ Lesson Goal を意識して、自分ならどんな表現を使いたいか考え、活動するように促す。 ・ やり取りに必要な表現を扱う。 ・ 場面設定をして尋ね合う活動を組み、児童が繰り返し表現に慣れ親しむことができるようにする。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教師と児童や、ペアで尋ね合う活動を通して好きなものを尋ねる表現に慣れ親しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教師と児童とで尋ね合う活動に繰り返し取り組んだり、表現を聞かせたりして児童が表現に十分に慣れ親しむことができるようにする。
4	<p>3 好きなものを尋ね合う(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ありがとうカードにかく友達が好きなものを尋ねる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童の関わり方を見て、目線や話し方のよさを全体へ広げる。 ・ 前時までにやり取りしたことを生かして、友達と聞き合い、児童同士で助言し合う場を設定する。

○モデルを示した場面の実際の授業の様子

HRT : Hello. Thank you for coming. I want to give you a letter.

ALT : Wow. Really? Thank you.

HRT : What color do you like?

ALT : I like pink and yellow.

HRT : Uh-huh. What shape do you like?

ALT : I like heart.

HRT : Heart?

ALT : Yes. Heart.

HRT : I see. I did it. It's a present for you.

ALT : Wow. Thank you. I like pink, yellow and heart.

HRT : That's good. みんな、ALT さんによろこんでもらえたかな。

S1 : よろこんでいたと思う。好きな色で手紙を書いていたから。

S2 : そう。ALT 先生はピンクと黄色が好きって言っていた。

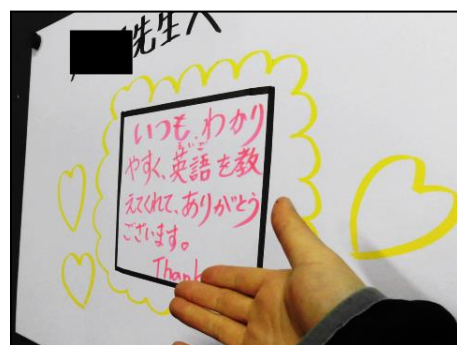
HRT : ALT, you like pink and yellow. Is it okay?

ALT : Great. I like pink and yellow.

HRT : Yeah. What shape does ALT like?

S3 : Heart.

HRT : ALT likes heart. Nice. Next is your turn.



○児童は単元の終末のイメージを具体的にもてたことで表現に慣れ親しむ活動にも意欲的に取り組むことができました。友達と好きなものを尋ね合う場面では、相手が好きな色と形が聞き取れなかったときに、聞き返して確認する姿がありました。相手の手紙に書くために丁寧に聞き取ろうとする姿がありました。

○児童の振り返りカードの記述

- ・たくさんの友達の好きな色や形を知ることができてうれしかった。
- ・友達が好きな色を聞いて、手紙を書くことができた。好きな色で書くと、よろこんでもらえる気がするから、手紙を書くのも楽しかった。
- ・友達が自分と違う形が好きなことがあるから、しっかり聞くことが大事だと思った。

まとめ

目的意識をもつために、英語を使う場面をモデルで示しましょう。誰に、何のためにする言語活動であるか、見通しをもつことで、児童はコミュニケーションをする楽しさを実感することにつながります。